

要注目



福井県内での生息地・生息数とも非常に少ない。希少種といえる。北潟湖産 全長:約23cm

カワアナゴ科 カワアナゴ属 【全長】25cm

カワアナゴ

学名: *Eleotris oxycephala*

分布域

福井県・茨城県以南に分布し、太平洋側に多い。

生息域

河川の下流～中流域に生息し、砂泥底・砂礫底を好む。



非常に丈夫で水槽にも慣れる。

本種の日本海側分布の北限は福井県とされる。県内では稀に成魚の生息が確認される程度で非常に少ない。繁殖は疑問がある。体形は円筒形。下顎が突出し吻は尖る。体色は一様に黒褐色の時(興奮時)と、眼から上の背面側が淡褐色で腹部側が暗褐色の時(安定時)など、状態によって変化は著しい。胸鰭の基底に2個の暗色斑がある。食性は動物食性で活きた甲殻類や小魚を食べる。産卵期は夏頃とされるが、県内では確認されていない。夜行性で日中は物陰に潜み夜間活動する。

水槽での飼育は容易。成魚は非常に丈夫で、真水～汽水(海水比が10%前後)で飼育出来る。気性は荒く、同種間でも激しく喧嘩する。

在来種

回遊魚

※ 産卵には海水の影響を受ける。稚魚が海水域から遡上するが、本県では非常に少ない。9月下旬に河口付近で稚魚を確認しているが成魚は非常に少ない。冬季の水温の影響か？